

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	一般社会へのステップアップとして就労に向けた着実で計画的な相談活動や生活支援が成果を上げています
	内容	就労継続支援A型事業所の事業としては、一般就労と生活という両面で利用者の支援を行なっていくことが求められており、一般企業で働くためのステップアップとして就労に向けた相談や就労活動への支援を行なうと共に、生活支援でも就労に向けた生活面での課題を把握し、指導していく必要があります。みくまでは28年度は就労へのステップアップが実現しませんでした。29年度は1名が就労を果たし、他の何名かも就労の実現に向けて取り組んでいます。社会への就労を目指した着実な活動が続けられていることは大きな成果だと思います。
2	タイトル	マニュアル等が一目で理解できるようにリニューアルされました
	内容	日々の業務内容の確認や点検に欠かせない、衛生管理や身だしなみ、清掃はじめ各種のマニュアル類が備えられています。内部監査を切っ掛けに全面的な見直しが行われ、これまでの汎用的な記述が中心のマニュアルから、実務に直結する実践的で見やすいマニュアルにリニューアルされました。写真やイラストをふんだんに用い、経験の浅い職員でも短時間で、業務の中で生じた疑問や確認事項を解消することができ、支援の質の担保が図られるように工夫がなされています。
3	タイトル	利用者意向をふまえた個別支援計画は、目標を日々のケース記録とひもづけて記録し、利用者の目標達成状況が記録出来るしくみとしています
	内容	利用者の個別支援計画は、契約時と6ヶ月に一回のアセスメントから得られた意向をふまえて作成されています。また、事業所には契約の形態として「雇用」と「利用」があり、利用者の体調により変更が行われれば、目標が変わり、日々の活動や職員の指導内容も変わります。個別支援計画は毎日記録するケース記録ファイルに写しが添付されます。職員は、その日の利用者の様子をケース記録に記載し、計画に位置づけられた目標に番号でひもづけます。これにより、利用者の目標達成状況を記録し、職員も計画の視点をもって支援できる効果につながっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	就労継続支援A型事業所として市内唯一の法人独自事業が継続し、より発展していくに十分な体制の構築を期待します
	内容	当事業所は平成25年度に法人独自の取り組みによる市内初の就労継続支援A型の事業所として発足しました。自立支援給付費の加算が少なく、運営費の確保が当初からの課題とされてきており、そのため管理者が他事業所と兼務しており、事業所の業務になかなか関われない現状があります。事業所でも利用定員の増や多機能型の事業所への転換等での人件費を含む運営費の確保を模索していますが、職員のストレス増によるモチベーションの低下や事業目的への推進に支障が出ないように法人の適切なフォローも必要ではないかと感じられます。
2	タイトル	継続的、安定的な成果を続けていくために運営全体の基盤の見直しが必要ではないでしょうか
	内容	弁当販売の拡大により水準以上の工賃の支給を可能にしたり、利用者の一般就労を実現するなど、個々の職員の努力と適切な支援の実施の成果が表れています。しかし、事業に必要としている人員配置が困難な状況が創設以来続いている現状があり、継続的に安定した支援を続けていくためには、配置基準をクリアするだけでなく、職員が事業所全体の状況を総合的に把握し、専門性の向上につなげられるように、兼務の縮減などを含め、職員体制の構築に配慮することが求められます。
3	タイトル	必要な情報を行き渡らせ、一体的なサービス提供を行うための、顕在化している記録に関わる課題の解決に向けた取り組みを期待します。
	内容	職員のローテーション勤務により、一同に会する機会は少なく、利用者情報の共有や職員間の支援の提供状況が見えにくい環境があります。職員のためのミーティング時間も朝の限られた時間のみとなっています。このような体制のなか、事業所として必要な情報を行き渡らせ、一体的なサービス提供を行うためには、記録の充実と周知するルール作りが欠かせません。事業所では、職員間で記録の内容に差がみられ、不足を口頭で補っている面もあるといえます。今、顕在化している記録に関わる課題の解決に向けた取り組みを期待します。